



情報開示特集(保育・高齢者・障がい)

令和7(2025)年度 研修報告/地域貢献活動報告/事業報告/決算報告
令和8(2026)年度 研修計画/事業計画/資金収支予算(4～10面掲載)

巻頭言

〓人材希少社会、一迫られる医療・介護・障がい福祉分野の持続可能な産業構造への転換
福祉の職場が、働くすべての人が輝ける場となることを心より願う ————— 2

ココリスPLUS(プラス)、新体制スタート! ————— 3

理念は「施設は地域とともにあるべき」 50周年感謝の会 岩戸ホーム — 3

保育者としての土台をつくる 保育基礎研修 ————— 4

就活生応援メッセージ ————— 4～5

濱 貴裕さん(くるみ愛育園)/ 山田せいなさん(高槻けやきの郷)

“ともに生きている”専門職としての姿勢を学ぶ 人権研修 成光苑京都エリア — 5

感動!「子どもの力ってすごいね!」 ふれあい交流会 東生野愛育園 — 6

丁寧な説明と情報交換を密にして ライフ・ステージ 夢咲 ————— 7

モルックで競い、多世代食堂の試食会は高評価 ————— 11

摂津市老人福祉センターせつつ桜苑

「あまいのは虫歯になるんだよー」歯みがき指導 認定こども園一津屋愛育園 — 11

トピックス ————— 12



社会福祉法人 成光苑

2026
夏号

現役プロサッカー選手がサプライズ登場! 子どもたちがスタジアムに立つ

認定こども園きりん愛育園の5歳児クラス(51名)は5月25日、広々としたピッチと最新設備を備えた日本を代表するサッカー専用スタジアム、パナソニックスタジアム吹田で行われた「吹田市スタジアムピッチ体験事業」(吹田市都市魅力部文化スポーツ推進室主催)に参加しました。

まず案内されたのは、プロサッカー選手が実際に使用している円形のロッカールームです(写真左)。その形や広さに、子どもたちからは「なんかすごい!」と驚きの声が上がりました。水分補給をして“選手になった気分”が高まったところへ、ガンバ大阪アカデミーのコーチ3名が来られ、自己紹介のあと、早速ピッチへ移動しました。きれいに整備された天然芝の上では、寝転んだり、コーチとの鬼ごっこやシュート練習をしたりしたあと、ミニゲームにも挑戦しました。

記念撮影では、ガンバ大阪の福岡将太選手が登場し(写真右)、一緒に写真に入ってくれるというサプライズもあり、子どもたちは大喜びでした。



ミyakumiyakuに会いに行く! 期間限定イベントに参加

大阪府高齢者向け優良賃貸住宅「竜ヶ池ハウス」(特養吹田竜ヶ池ホーム併設)では、5月14日、のご入居者8名が、万博記念公園(1970年大阪万博跡地)へお出かけになりました。

今回の外出のきっかけは、スタッフがSNSで見つけた「2025年大阪・関西万博の公式キャラクター『ミyakumiyaku』のモニュメントが期間限定で移設されている」という情報です。「ご入居者の皆さまに現地で喜んでもらいたい」というスタッフの想いから、この企画が実現しました。



施設の送迎車で揺られて約15分。パラ園の近くに設置されたミyakumiyakuの姿が見えると、「これこれ!見られて良かった」と歓声上がり、皆さま笑顔の記念撮影を楽しめました(写真)。

施設の見学や送迎車で揺られて約15分。パラ園の近くに設置されたミyakumiyakuの姿が見えると、「これこれ!見られて良かった」と歓声上がり、皆さま笑顔の記念撮影を楽しめました(写真)。

はじめての手作り弁当にパパも笑顔 川俣スカイランドへ親子遠足

くるみ小規模保育園では5月16日、親子遠足で東大阪市の川俣スカイランドへ出かけました。川俣スカイランドは、下水処理施設「川俣水みらいセンター」の屋上を活用して整備された公園で、広々とした天然芝の広場が特徴です。歩き始めたばかりの子どもたちが転んでも安心な、柔らかい地面が広がっています。

お弁当タイムでは、「子どもにもパパにも初めてのお弁当作りで、ドキドキしました!」(写真)といったママの声も聞かれ、園内のあちこちで温かな親子の触れ合いが見られました。



〔法人理念〕

1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。

〔サービス目標〕

1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。

〔愛育園経営方針〕

1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

〔高齢者施設経営方針〕

1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する。
2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする。
3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する。

〔障がい施設経営方針〕

1. その人らしく健やかにともに暮らし、希望をもって社会参加できる環境を提供する。
2. 地域の中で個々のニーズに合った専門性の高い総合的なサービスを提供する。
3. 地域にあって良かったと誰もが笑顔で過ごせる、信頼される施設運営を目指す。

【発行日】2026年7月

【発行】社会福祉法人 成光苑(理事長 高岡 國士)
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7
TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551
URL: <https://swc-seikouen.or.jp/>

★「ききょう」の由来

創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。

QRコードで簡単アクセス!



巻 頭 言



「人材希少社会」に迫られる医療・介護・障がい福祉分野の持続可能な産業構造への転換
福祉の職場が、働くすべての人が輝ける場となることを心より願う

理事長 高岡 國士

日ごろから社会福祉法人成光苑の事業推進にあたり、皆様の多大のご協力とお力添えいただき感謝とお礼申し上げます。

財政審建議が示す
強まるばかりの労働供給制約

6月26日、財務大臣の諮問機関である財政制度等審議会より建議が公表されました。建議は、国の財政運営や予算編成のあり方についてまとめた提言・意見書であり、法的な強制力はないものの、骨太の方針をはじめ政府の経済財政政策や実際の予算編成に強い影響力を持つものです。

今回の建議では、労働供給制約が強まる「人材希少社会」において、労働生産性の向上と人材配分の適正化を一体の課題として進める必要があるとされています。医療・介護分野については、より少ない労働投入量でサービスの質を確保しつつ高い付加価値を生み出すことを可能とし、効率的で持続可能な産業構造への転換が不可欠であると指摘されています。

社会福祉法人として最大の経営課題である担い手の確保に向けては、介護報酬による賃上げだけでなく、介護現場の生産性向上が賃上げにつながる好循環を実現することが重要とされています。令和9年度介護報酬改定にあたっては、サービス類型やサービス提供の実態に応じて介護報酬を見直すべきとの意見も示されています。

障がい福祉分野については、総費用額が増加しやすい構造を踏まえ、質の確保と費用抑制の両立が不可欠とされています。これら一連の議論は、人口減少と人材希少社会を前提に、医療・介護・障がい福祉の産業構造の転換を迫るものと言えます。

こうした状況の中で、社会福祉法人成光苑が地域から頼りにされる社会資源であり続けるためには、協働化や多機能化を戦略的に進めることが極めて重要であると考えています。

訴えつづけてきた、

女性の育児・就労の両立支援は、私の悲願

日本の人口は減少局面に入り、高齢化が急速に進む中で、高齢化率は30%と世界最高水準に達しています。一方、出生数は年間70万人を下回り過去最少を更新しています。社会福祉法人への影響としては、介護需要や障がい福祉サービス需要は今後も増加する見込みであり、保育需要については地域差が拡大するとされています。

こうした背景には、共働き世帯が約1300万世帯へと増加し、専業主婦世帯（約500万世帯）の約2.5倍となるなど、女性の就業率が年々上昇していることがあります。女性にとつて働きやすい職場や地域（自治体）における育児・介護の両立支援の充実度が、保育需要の地域差

を生む重要な要因であることは疑いありません。

私自身、女性の育児と就労の両立支援は重要な柱の一つと考えており、これまでもあらゆる機会を通じて取り組んでまいりました。

共生社会の中核を担う

地域福祉の拠点として

当法人としても、社会福祉法人の本来に則り、社会福祉事業にかかる福祉サービスの供給確保の中心的役割を果たすだけでなく、既存制度の対象とならないサービスの提供、すなわち地域における公益的な取り組みを継続していくことが重要であるとの認識のもと、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実・効果的・適正に行い、その使命を全うすることが求められています。

人口減少時代を迎える中、共生社会の中核を担う地域福祉の拠点として、10年後も地域住民から最も頼りにされる社会資源となることを目指し、地域に信頼され、愛される園・施設の運営に努めてまいります。

一法人の経営者として、福祉の職場がすべての働く人にとつて輝ける場となることを心より願っております。

関係各位におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

「プラスプラス、新体制スタート！」

社会福祉法人成光苑が大阪府摂津市で建設を進めていた障がい福祉施設「ココリスPLUS」（児童発達支援・放課後等デイサービス・障がい児相談支援）は、4月1日よりココリス（同市）から分離・独立し、児童を対象とした障がい福祉サービスとして新体制での運営を開始しました（「ききょう」2026新年号掲載）。

児童発達支援・放課後等デイサービス・障がい児相談支援



さらに、環境整備の一環として、介護用シャワー入

安心の入浴機器「アラエル」を導入

浴装置「アラエル」（酒井医療株式会社）を新たに導入しました。ご家庭での入浴が難しいお子さんも安心して利用できるよう、「清潔で快適な入浴」と「介助者の負担軽減」を両立できる点が評価された設備です。将来的には、より重度の障がいのある方の受け入れや、支援サービスのさらなる充実にもつながることが期待されています。

大阪府摂津市一津屋1丁目37番20号
TEL 06-4862-4566

受け入れ体制強化、定員を20名へ

児童発達支援と放課後等デイサービスの定員が20名となり、これまでの倍の受け入れが可能になりました。曜日や時間帯を選びやすくなったことで、子ども同士の関わりが自然に増え、新しい友だち関係も生まれています。日常の中で関わる機会が広がり、子どもたちの成長を力強く後押ししています。

療育スペースで伸び伸び過ごす

療育スペースについては、「子どもが伸び伸びと過ごせそう」といったご意見や、「毎日、ココリスPLUSへ行くのを楽しみにしています」という嬉しい声が寄せられています。開放感のあるテラスでは、色水あそびや虫取りなどをお友だちと楽しみ、新しい環境を存分に味わっています。



理念は「施設は地域とともにあるべき」 岩戸ホーム50周年感謝の会

岩戸ホーム

岩戸ホーム（福知山市猪野々）では3月7日、創立50周年を記念した（「ききょう」2026新年号掲載）「50周年感謝の会」を開催しました。当日は、高岡國士理事長をはじめとするスタッフ、そして同施設のOG・OB（計32名）が参加され、節目の年をともに祝いました。

式典の冒頭では、高岡國士理事長が挨拶に立ち、「成光苑で初めての高齢者福祉施設として、この地域とのご縁、そして立ち上げから今日までの運営において、それぞれの立場でご尽力いただいたことに心から感謝したい」と述べ、50年の歩みに対する深い感謝の思いを語られました。

続いて、管理医師の牧陽一様、歴代施設長である足立数枝様、藤原義章理事（現・せつつ桜苑施設長）らに対し、これまでの功績を称える表彰が行われました。

その後の懇親会では、さまざまな思い出話に花が咲き、参加者同士の交流が深まりました。

参加されたOG・OBの皆さまからは、初代理事長・高岡ひさゑ氏が掲げた「施設は地域とともにあるべき」という理念を振り返り、「お年寄りや人生の大先輩。敬う心を忘れないでほしい」という教えを、これからも大切に受け継いでほしいとの声寄せられました。



昔はこんな園舎だったんだあ

創立記念日の集い

認定こども園千里丘愛育園



認定こども園千里丘愛育園（定員225名）では4月8日、毎年恒例の「創立記念日の集い（76周年）」を園児全員で行

いました。

子どもたちは、昭和時代の旧園舎や初代高岡ひさゑ園長の写真パネルを見ながら先生の話に耳を傾け、「今と違うね」「昔はこんな園（園舎）だったんだあ」と、時代の変化に驚く姿が見られました（写真）。

歴史を深く理解することは難しい面もありますが、写真やエピソード、先生の語りを通して、「園には長い歴史がある」「大切にされてきた場所なんだ」という思いを感じ取る、未来につながる大切な学びの時間となりました。

強い好奇心を持っていることが、私の長所かな

—あなたの性格や得意なことで、仕事に役立っているものは何ですか

人の話を聞くことが好きで、また強い好奇心を持っていることが私の長所です。ご利用者のお話に耳を傾けながら、「なぜ今、このお話を私にしてくださったのだろう」と考え、ご利用者の気持ちに寄り添いながら理解しようと努めています。もちろん、すべてを完全に理解することは簡単ではありません。しかし、ご利用者に「この人は私の話をしっかり聞いてくれる」と感じていただけるよう、できる限りの力を尽くしたいと思っています。

介護のプロとして“今日を生きる力”につなげる

ファーストステージ研修I 高齢・障がい部門



高齢者・障がい部門の新人スタッフ18名を対象に、4月1日・2日の2日間、せつつ桜苑を会場として「ファーストステージ研修I」を開催しました。

冒頭では、成光苑法人本部の南猛文事務局長より、「成光苑のスタッフとして、また介護のプロとしての日々の積み重ねが、誰かの“今日を生きる力”につながる。胸を張って取り組んでほしい」との激励がありました。続いて行われた講義では、有限会社レイズ取締役の増田知乃氏を講師に迎え、組織人としての心構えやビジネスマナーなど、社会人としての基本について、グループワークを交えながら理解を深めました(写真)。

受講生からは、「他者のさまざまな発想や意見を受け入れるきっかけにしたい」といった声が寄せられ、変化の大きい今の時代において、多様な価値観を尊重しながら成長していこうとする前向きな姿勢が多く見られました。

令和7年度研修報告(高齢者・障がい)

	研 修 名	エリア等
4月	ファーストステージ研修I	全体
	グローバル人財PJ	全体
	人事考課者研修	全体
	ファーストステージ研修II	大京
5月	人財育成研修PJ会議	全体
	グローバル人財サポート会議	全体
	ファーストステージ研修II	大阪
	認知症ケア研究会	全体
6月	ファーストステージ研修II	大阪
	非常勤スタッフ研修	京都
	人財育成研修PJ会議	全体
	グローバル人財コア会議	全体
7月	人財確保PJ戦略会議	全体
	居宅介護支援専門員研修	大阪
	ファーストステージ研修II	大阪
	認知症ケア研究会	全体
8月	キャリアアップステージ研修I	全体
	人権研修	京都
	グローバル人財コアサポート会議	全体
	キャリアアップステージ研修II	全体
9月	虐待防止研修(非常勤)	京都
	アンガーマネジメント研修(非常勤)	京都
	人事考課者研修	大阪
	ネクストステージ研修III	全体
10月	居宅介護支援専門員研修	大阪
	ファーストステージ研修I	全体
	サ責合同研修	大阪
	認知症ケア研究会	全体
11月	グローバル人財交流会	全体
	認知症ケア研究会	全体
	グローバル人財サポート会議	全体
	ネクストステージ研修I	全体
1月	ファーストステージ研修II	大阪
	ファーストステージ研修III	全体
	認知症ケア研究会	全体
	サ責合同研修	大阪
2月	ファーストステージ研修II	大阪
	人事考課者研修	大阪
	居宅介護支援専門員研修	大阪
	居宅介護支援専門員研修	大阪

一人で頑張るのではなく、みんなで頑張ることの大切さを実感

—学生の皆さんにメッセージを

「初めて」の場面には不安や緊張がつきものです。「社会人として頑張ろう」と思えることは素晴らしいですが、無理に気負う必要はありません。周りの人たちもその気持ちを理解しています。大切なのは、「どう頑張りたいか」「何を頑張りたいか」を伝えることです。そうすれば、周囲はあなたを支えてくれます。この職場で私は、“一人で頑張る”のではなく、“みんなで頑張る”ことの大切さを学びました。これからは一緒に頑張っていきたいと思います。

“ともに生きている”専門職としての姿勢を学ぶ

人権研修に京都エリアの48名参加 岩戸ホーム サンヒルズ紫豊館 ライフ・ステージ 舞夢 ライフ・ステージ 夢咲

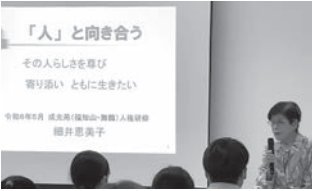
高齢者・障がい部門(京都エリア)では、「令和8年度成光苑京都4施設 合同人権研修」を、5月20日(サンヒルズ紫豊館会場)および5月21日(ライフ・ステージ 舞夢会場)に開催し、計48名のスタッフが参加しました。

講師には、山城ぬくもりの里(社会福祉法人楽慈会)顧問の細井恵美子氏(写真右)を迎え、「『人』と向き合う ～その人らしさを尊び 寄り添い ともに生きたい～」をテーマに講演されました。

細井氏は17歳で看護師として病院勤務を開始され、その後介護の道へ進まれました。同施設では70歳から10年間施設長を務められ、現在は顧問として95歳になられた今も週1回ご利用者とお話しされるなど、介護現場に携わり続けておられます。

ご利用者との関わり方については、検温や入浴前などのケアの際に安心感を持っていただくため、「なぜそれを行うのか、何のために必要なかを、必ず言葉で伝えてから行動してほしい」と述べられました。また、「ご利用者に受け入れていただけているか、心に寄り添えているかを常に考えながらケアをしてほしい。質の高いケアができたときは、専門職としての自分自身も癒やされる。“ともに生きている”という気持ちで介護の道を歩んでほしい」と助言されました。

参加者からは、「あらためて、ご利用者の人生にしっかり伴走していく仕事だと学びました」といった感想が寄せられました。



令和7年度研修報告(高齢者・障がい)

	研 修 名	エリア等
4月	ファーストステージ研修I	全体
	グローバル人財PJ	全体
	人事考課者研修	全体
	ファーストステージ研修II	大京
5月	人財育成研修PJ会議	全体
	グローバル人財サポート会議	全体
	ファーストステージ研修II	大阪
	認知症ケア研究会	全体
6月	ファーストステージ研修II	大阪
	非常勤スタッフ研修	京都
	人財育成研修PJ会議	全体
	グローバル人財コア会議	全体
7月	人財確保PJ戦略会議	全体
	居宅介護支援専門員研修	大阪
	ファーストステージ研修II	大阪
	認知症ケア研究会	全体
8月	キャリアアップステージ研修I	全体
	人権研修	京都
	グローバル人財コアサポート会議	全体
	キャリアアップステージ研修II	全体
9月	虐待防止研修(非常勤)	京都
	アンガーマネジメント研修(非常勤)	京都
	人事考課者研修	大阪
	ネクストステージ研修III	全体
10月	居宅介護支援専門員研修	大阪
	ファーストステージ研修I	全体
	サ責合同研修	大阪
	認知症ケア研究会	全体
11月	グローバル人財交流会	全体
	認知症ケア研究会	全体
	グローバル人財サポート会議	全体
	ネクストステージ研修I	全体
1月	ファーストステージ研修II	大阪
	ファーストステージ研修III	全体
	認知症ケア研究会	全体
	サ責合同研修	大阪
2月	ファーストステージ研修II	大阪
	人事考課者研修	大阪
	居宅介護支援専門員研修	大阪
	居宅介護支援専門員研修	大阪

空手で育った体力が活かされる日々の保育 落ち着いて、粘り強く向き合う

—あなたの性格や得意なことで、仕事に役立っているものは何ですか

私の強みは、コミュニケーション能力と、空手を続ける中で培った精神力と体力です。

先輩の先生方と積極的に関わることで、日々学びを深め、自分自身の成長につながっていると実感しています。また、空手を通して身に付けた体力は、子どもたちと一緒に遊ぶ場面で活かされています。さらに、精神力は子どもたちへの関わりや指導の中で、落ち着いて対応したり、粘り強く向き合ったりすることに役立っていると感じています。

子どもの「もっとやりたい!」を引き出す

マーチング研修に9名参加 認定こども園一津屋愛育園

認定こども園一津屋愛育園では6月6日、講師に池森章太氏(池森音楽事務所代表)を迎え、保育スタッフ9名がマーチング研修に参加しました。池森氏には和太鼓指導でもお世話になっていますが、今回は10月の運動会で5歳児クラスが披露する2曲を中心に、スネアドラム・バスドラム・トリオ・シンバルなどの打楽器に加え、カラーガード(写真)や、指揮の動きも学びました。

打楽器の担当はクラスが重ならないように決め、カラーガードは全員で取り組みました。研修の初めはフォーメーション(動きながら隊形を変える演技構成)の難しさに戸惑いましたが、練習を重ねるうちに動きがそろい、全体のまとまりが見られるようになりました。

池森氏からは「マーチングは和太鼓以上に協調性が大事で、自分のパートが全体の音楽の一部として“合うように演奏する”ことが重要」との助言がありました。その言葉を受け、スタッフの間でも意識が共有され、次第にリズムがそろっていきました。

参加スタッフからは「自分が覚えることで精一杯で余裕が持てなかった」「子どもたちにも“楽しい”“もっとやりたい”と感じながら、自信をもって取り組めるよう基本を丁寧に伝えていきたい」といった声が聞かれました。



令和8年度研修計画(保育部門)

保育者としての専門性を高める研修だけでなく、スタッフの主体性を引き出すマネジメント・組織体制の構築にむけて継続して検討する。また、次世代の育成にも焦点をおき、幹部職層・中堅層を中心としたマネジメント能力の向上を図るとともに、部門間連携の強化を踏まえ高齢者・障がい部門の幹部層同士の交流の機会を確保する。

《保育部門 法人全体研修・各種検討会等》

研修名	対象者・回数	内 容
愛育園合同研修会	全スタッフ・年1回(新規採用者含む)	年度ごとにテーマを設定し、外部講師による講義等も含め、全園保育スタッフ及び新規採用者が参加する研修会の実施(参集型で検討)
保育基礎研修	新人～3年目程度(年1回・年度途中でフォロー)	各園の副主任・副主幹や中堅リーダーが講師となり、①心得・マナー、②平常保育、③子どもの人権等をテーマにした研修会の実施
安全管理研修	幹部もしくは全スタッフ	様々な事例を通して、危機管理意識を高め、事故防止に繋げる
人権保育研修	全スタッフ	マニュアル検討会のメンバーが中心となり園における虐待防止マニュアル改定内容を全スタッフに周知(研修会の実施)し子どもの人権擁護について意識を高める
障がい児保育研修	全スタッフ	障がい児支援に関する知識獲得の機会とケース会議を通じてコリスPLUSとの連携の強化を図る
地域子育て支援対策委員会	各園子育て支援担当者・コリスPLUS	愛育園全園とコリスPLUSも参画し、育児に関連する動画配信等と、協働したイベント企画
給食担当者会議	給食担当者(エリア別)	献立等の共有や試食会の機会を確保、給食担当者の衛生管理体制の確認及や業務の効率化の検討等を行う
保育基礎研修実行委員会	副主任/副主幹、中堅リーダー、Eチーム・年3回程度	保育基礎研修をはじめとし、保育部門の育成体制の構築に係る事項を検討
マネジメントの確立チーム会議	地域一番店Hチームメンバー	マネジメントチームの活動を法人研修として位置づけ、スタッフの主体性を引き出す組織の在り方を検討する
園長検討会	全園長・年6回(偶数月)	検討事項について園長自ら提案し、管理者として情報共有を図り、改善に向けた検討を行う。また、エリア単位で必要に応じて開催をする
定例園長会	全園長・年6回(偶数月)	内部コミュニケーションの強化及び教育・保育サービスの質の向上等を図る

※公開保育については、大きな法人の強みでもあることから、園単位で現状を踏まえてテーマを設定して随時実施することとする。

先輩の先生方に支えられ、子どもたちと一緒に成長できることがやりがい

—学生の皆さんにメッセージを

学生の頃は、保育士としてやっていけるのか不安がありましたが、実際に働く中で「もっと学生のうちに頑張っておけばよかった」と感じることも多くありました。それでも先輩の先生方に支えられ、日々の保育を通して少しずつ成長できています。子どもたちと一緒に成長していけることが、今の大きなやりがいです。「子どもたちのためにピアノを頑張ろう」「全力で遊ぼう」という思いが毎日の原動力になっています。

今の自分を信じて、学生生活や学びの時間を大切にしながら、後悔のないように過ごしてください。

保育者としての土台をつくる

保育部門では4月25日、1年目から3年目のスタッフ16名を対象に、愛育会館(法人本部3F)で「保育基礎研修」を開催しました。

この研修は、保育者としての土台をつくる総合的な研修であり、理念・人権・安全・実践・交流の5つを柱として

います。新人が安心して保育業務に入れるようにすることに加え、園を越えた交流を深めることで、互いに相談しやすい関係づくりを促し、精神的な支えとなる点も大きな特徴です。

法人理念・方針の理解では、「和顔愛語一福祉の原点一」(法人理念ハンドブック)を用い、成光苑の理念である「新しい時代に生きたる基礎を培う」について丁寧に学び、共通理解を深めました。

社会人としてのマナーや保護者対応を寸劇を交えて学ぶ場面では、新人がつまずきやすいポイントや実際に起こりやすいやり取りを、リアルでわかりやすく、時には笑いも交えながら理解を深めました。

1年目のスタッフからは、「お互い(スタッフ同士)を知ることで、保育活動の連携に役立つことが理解できました」といった声があり、寸劇や実践的なワーク(写真)を通して“こうすればいいんだ”という具体的なイメージを持たせよう。これらの学びは、今後の保育者としての自信につながる事が期待されます。

保育基礎研修に16名参加

令和7年度研修報告(保育)

	研 修 名	対象者
4月	定例園長会①	管理者
	園長検討会①	管理者
	保育基礎研修実行委員①	初任者
	スミミング研修	初任者
5月	子育て支援対策会議①	担当者
	定例園長会②	管理者
	園長検討会②	管理者
	園長検討会③	管理者
6月	地域一番店報告会①	幹部
	障がい児保育カンファレンス①	全職位
	人権保育研修	全職位
	子育て支援対策会議②	担当者
7月	定例園長会③	管理者
	園長検討会④	管理者
	園長検討会⑤	管理者
	定例園長会④	管理者
8月	園長検討会⑥	管理者
	子育て支援対策会議③	担当者
	障がい児保育カンファレンス②	全職位
	保育基礎研修実行委員②	中堅
9月	園長検討会⑤	管理者
	定例園長会⑤	管理者
	園長検討会⑥	管理者
	子育て支援対策会議④	担当者
10月	園長検討会⑦	管理者
	園長検討会⑦	管理者
	園長検討会⑧	管理者
	園長検討会⑨	管理者
11月	園長検討会⑩	管理者
	園長検討会⑩	管理者
	園長検討会⑪	管理者
	園長検討会⑪	管理者
12月	園長検討会⑫	管理者
	園長検討会⑫	管理者
	園長検討会⑬	管理者
	園長検討会⑬	管理者
1月	園長検討会⑭	管理者
	園長検討会⑭	管理者
	園長検討会⑮	管理者
	園長検討会⑮	管理者
2月	園長検討会⑯	管理者
	園長検討会⑯	管理者
	園長検討会⑰	管理者
	園長検討会⑰	管理者
3月	園長検討会⑱	管理者
	園長検討会⑱	管理者
	園長検討会⑲	管理者
	園長検討会⑲	管理者

丁寧な説明と情報交換を密にして

夢咲つながるミーティングにご家族37名参加



ライフ・ステージ 夢咲

ライフ・ステージ 夢咲（地域共生型総合福祉施設）では、5月31日に「夢咲つながるミーティング」を開催し、ご利用者のご家族37名にご参加いただきました。

当日は、ご利用者の居室にてご家族とスタッフが個別面談を行い（写真）、サービス内容や個別支援計画について説明しながら、相互に情報交換を行いました。また、ご本人やご家族からのご意見・ご要望、不安に感じていることなどを丁寧に伺う貴重な機会となりました。

昼食は、ご利用者とご家族が一緒に召し上がり、和やかな時間を過ごされました。食事中には、ご利用者の普段の活動風景や行事の様子をスライドショーで上映し、施設の取り組みについてもご紹介しました。

ご家族からは、「スタッフの皆さんとじっくりお話しできてありがとうございました」「普段の様子がよく分かり安心しました」といったお声をいただき、ご利用者も嬉しそうな表情を見せられるなど、多くの笑顔があふれる一日となりました。

“車椅子”に初めて触れてみた気づき

中学職場体験学習に2名受け入れ

ライフ・ステージ 舞夢

ライフ・ステージ 舞夢では、6月3日・4日の2日間、舞鶴市立加佐中学校2年生2名を職場体験学習として受け入れました。

体験初日は、スタッフの説明を受けながら施設内を見学し、ご入居者の皆さまへも丁寧に挨拶する姿が見られました。

車椅子体験では、二人とも車椅子に触れるのは初めてで（写真）、「動く前に声かけがないと不安になる」と気づき、言葉掛けの大切さや相手への思いやりを実感していました。また、認知症のご入居者との交流では、「同じ話を繰り返されても、楽しそうにお話しされる姿が嬉しかった」との感想がありました。

体験後にいただいたお手紙には、「介護の仕事は大変なイメージでしたが、スタッフの皆さんが明るくご入居者と接している姿が印象的でした」と記されており、介護の仕事への理解が深まるとともに、地域福祉について考える貴重な機会となったようです。



～ 母の日のプレゼント ～

手作りカーネーション

ココリス

ココリス（障がい福祉サービス・生活介護）では4月中旬から5月上旬にかけて、母の日のプレゼントとしてカーネーションのポットを製作しました。紙コップに紙粘土を詰め、色とりどりのお花紙を差し込んでいき、ハート型の画用紙に「ありがとう」と書いたものを添えて完成させました。

ご家族様からは、「本人が作ったものをいただけるのが嬉しいです」「昨年のカーネーションも飾っていますよ」など、喜びのお声をいただきました。

【福祉有償運送の運行】

【地域交流スペースの喫茶の運営】

【民生委員等との連携】

【認知症サポーターキッズ養成講座の開講】

令和7年度地域貢献活動報告

【親子教室での年齢に応じた遊びの提供】

【赤ちゃん駅の登録】

【育児に係る情報をYouTubeで発信】

【保育士・栄養士等による専門性を活かした講座の開催】

高齢者・障がい部門	保育部門 ※一部、児童発達支援含む
【地域に焦点を当てた事業展開】	
・交通弱者の移動支援の取り組み（過疎地域有償運送）の運行（4往復/日） 延べ利用者数：2683名（前年度比578名増）（内、地域利用1426名・前年度比約225名増） ・福祉有償運送（移動困難者に対して安価での移動支援）の運行 ・地域行事への積極的な参加及び地域との共催による行事の実施（夏祭り・花火大会・50周年記念行事等） ・リハビリ機器の地域への開放（感染対策を講じて再開） ・地域交流スペースの喫茶の運営	・親子教室での年齢に応じた遊びの提供（製作、リズム、絵本の読み聞かせ等） ・各園の保育室、園庭、絵本室等の開放、絵本の貸出 ・園の季節の行事への招待及び地域の親子を対象とした独自のイベント開催 ・赤ちゃんの駅（おむつ替えや授乳ができる施設）の登録 ・妊産婦への支援
【地域における福祉推進】	
・施設における地域の総合相談窓口の設置及びその周知 ・認知症あんしんサポート相談窓口、認知症カフェ等開設 ・相談援助活動へのスタッフ派遣及び介護相談会の実施 ・地域住民の居場所づくり（喫茶等） ・民生委員等との連携（交流勉強会への参加等） ・介護職員初任者研修・実務者研修への講師派遣（京都） ・外部主催の認知症サポーター養成研修をはじめとする認知症関連研修への講師派遣 ・農閑期の閉じこもり防止を目的としたサロン活動の実施 ・高齢者のボランティア支援とボランティア担当者の配置 ・認知症サポーターキッズ養成講座の開講 ・「小中学生対象・次世代の担い手育成事業」や小中学生の職場体験及び社会福祉体験学習等の受入 ・こどもを守る110番運動への参画 ・介護、看護、相談援助等の専門職実習生の受入 ・子ども食堂の実施及びネットワーク会議等への参加	・育児相談の一環として地域の保護者向けに、子どもの健康やふれあい遊び、絵本に関する情報を掲載した通信を自主作成し無料配布 ・育児に係る情報（育児に係る悩みへの対応、手作り玩具等）をYouTubeで発信（全部門が参画） ・育児相談員およびスマイルサポーター（大阪府知事認定）による育児相談窓口の設置（来所・電話等） ・保育士・栄養士等による専門性を活かした講座の開催 ・地域の子育て支援担当者間の情報交換会への参画 ・公民館を利用した地域での制作活動 ・一人暮らし高齢者宅の訪問（七夕飾り等の宅配） ・保育士養成校からの保育士養成実習の受入 ・近隣の高齢者を招待した行事の開催や居場所づくり、生きがい支援（手作り玩具・雑巾縫い等）
【社会的援護を要する人々への支援】	
・孤独・孤立対策官民連携プラットフォームへの登録 ・生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労の受入体制の整備（実績0名） ・協力雇用主制度による刑務所出所者の雇用に向け協力雇用主として登録（実績0名） ・高齢者世帯及び生活困窮母子家庭世帯への配食サービス及び安否確認 ・社会福祉法人等利用者負担軽減制度、特別地域加算減免事業、通所サービスの食費負担軽減の実施 ・地域の高齢者からの緊急通報への対応（24時間365日）が安心生活見守り事業への移行 ・日本財団「夢の貯金箱」（自動販売機の飲料売り上げのうち10円を寄付）の全施設設置 ・大阪しあわせネットワークへの参画・基金への提出及び大阪全施設にCSWを配置。 ・京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」への参画（基金への提出等） ・障がい者就労継続支援A型事業所との連携 ・市主催のフードバンク支援への参画 ・住居確保要配慮者への支援として吹田市居住支援協議会への参画と居住支援法人としての活動 ・地域の生活保護受給者への初任者研修費用の貸付や物価高騰に係る助成金の手続き支援	・特別保育事業（一時預かり保育、延長保育等）の実施 ・配慮の必要な子どもに対する関係機関との連携等による支援 ・被虐待児童への関係機関との連携等による支援 ・大阪しあわせネットワークへの参画・基金への提出及び全園にスマイルサポーターを配置 ・障がい者就労継続支援A型事業所との連携（清掃業務の委託等）
【国際交流】	
・雇用する在日外国人スタッフへの日本語勉強会等の実施及び日本語能力検定受験への支援 ・地域の在日外国人（フィリピン）の雇用及び住居の整備等 ・外国人人材の介護福祉士資格取得支援対策講座の開講 ・在日外国人への各種資格取得や交付金の申請に係る手続きの支援・代行	・グローバル介護職員初任者研修の開催 ・介護技能実習生、特定技能のスタッフの受け入れにあたる関連機関との連携強化等 ・旧ユニフォームを全て回収し、古着deワクチン事業を通じて発展途上国の感染症予防ワクチン（ポリオワクチン）の提供に貢献
【地域団体などとの連携の取り組み】	
・地区の福祉推進協議会や施設・事業者連絡協議会等への参加による地域連携強化・スタッフ派遣 ・地区の福祉推進協議会や地域貢献委員会等への参画 ・自治会活動へのスタッフ派遣	・地域のイベントへの参画（作品展への出展等） ・日本保健福祉ネリスト協会の協力による福祉ネイルの開催 ・地域の老人会・民生委員・主任児童委員・自治会長等との連携 ・中学校区における地域教育協議会への参画
【災害支援・環境対策】	
・自治会等地域との防災協定の締結 ・地域の福祉避難所としての指定、防災倉庫の設置等災害発生時のネットワークの構築 ・災害派遣福祉チーム（DWAT）への参画（京都5名/大阪7名 合計：12名）。DWAT研修の受講及び講師派遣 ・感染症発生時における職員の相互応援に関する協定に係る派遣職員候補者の登録	・災害支援協力体制整備として、天座農地管理会、厨房委託業者との玄米保管・供給の仕組みを構築（災害時備蓄米） ・FM舞鶴と提携し、送受信設備の施設敷地内の設置及び災害発生時の被害情報提供体制の確立（対象事例無し） ・原子力災害対策の推進 ・エコキャップの回収、廃油回収へ協力
【独自の取り組み】	
・京都府高齢者あんしんサポートハウス（低所得者に対応した家賃設定）の運営 ・耕作放棄地を活用したかがやき農園の取り組み及び農地管理会等と連携した農福連携事業の推進 ・地元企業（大江山食品）や福祉ネリスト協会との協働活動 ・喫茶店「ひだまり」・いこい庵等施設機能を活用した商福連携の運営	・耕作放棄地を活用したかがやき農園の取り組み及び農地管理会等と連携した農福連携事業の推進

こねてつくって、「何ができるの？」

親子教室に3組参加

認定こども園正雀愛育園

認定こども園正雀愛育園では5月26日、親子教室（2歳児対象）で小麦粉粘土づくりを行い、3組の親子が参加しました。小麦粉のサラサラした感触を楽しんだあと、水を入れると子どもたちはワクワクした表情に。保育者が混ぜる様子を見ながら、保護者の方からは「お料理みたい」「何ができるの？」といった

声が聞かれ、和やかな雰囲気が進みました。粘土ができあがると、親子でちぎったり丸めたりして遊び、食紅でピンク色にすると、お母さんたちも夢中になってケーキやいちご、リボンなどを作って楽しんでいました。後日、「家でもやってみました!」という嬉しい声も届き、親子の楽しい体験が家庭にも広がりました。



感動!「子どもの力ってすごいね!」

ふれあい交流会

東生野愛育園



東生野愛育園（生野区）では5月20日、近隣の高齢者福祉施設サン・アケリア（社会福祉法人クローバー会）のご利用者9名を迎え、「ふれあい交流会」を行いました。最高齢はなんと103歳の方でした。

子どもたちが「きんたろう」「桃太郎」を歌うと、皆さんも手拍子をし

ながら笑顔で口ずさんでくださり、スタッフの方が「こんなに笑っている姿は初めて」「子どもの力ってすごいね」と涙ぐむ場面も見られました。折り紙で作ったいちごのメダルをプレゼントすると、「ありがとう」と喜んでいただき、子どもたちも嬉しそうな表情を浮かべていました（写真）。

☆ わらべうたで世代間交流

らくゆうに園児23名参加

くろみ愛育園・くろみ小規模保育園

くろみ愛育園とくろみ小規模保育園の園児（計23名）は5月28日、大阪市立小路小学校で月に一度開催されている地域コミュニティサロン「らくゆう」に参加しました。

当日は、子どもたちが地域の高齢者の皆さまに歌を披露したほか、わらべうた「おおかせこい」に合わせてシフォン布（*）を用いた触れ合い遊び（写真）も行われました。子どもたちと地域の皆さまが直接交流することで、互いに温かな関わりを持つ喜びを感じられる、心温まる時間となりました。



（*）シフォン布 薄くて軽く、透け感のある柔らかい布のこと

令和8年度 事業計画 急速な少子高齢化を主要課題と捉え、2030年・2040年を見据えた改革を始動し、地域で最も頼られる存在を目指して災害・感染症への即応体制と次世代への事業承継を確実に進める

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 財務管理の体制強化（経営状況の把握、分析）**
 - 経営企画会議・園長検討会の運営による法人の各部門の経営状況に応じた対策及び財務状況の安定を図るための経営・財務分析の実施
 - 高齢者部門における加算取得状況の施設間比較も含めた法人全体での把握
- 人事・給与管理体制等の強化【重点】**
 - 多様な人財が活躍できる体制の整備（休暇日数の見直し、高齢者・障がい者雇用の促進等）
 - 各部門における人事・給与システムの整備充実による管理体制の強化
- ICT化・DX化の促進【重点】**
 - 全部門におけるICT化の推進、生成AI（議事録作成ツール等含む）の活用等のためのプロジェクト編成及び補助金の活用によるハード面の整備
- 事業の継続に向けた体制整備**
 - 全部門におけるBCPの定期的な見直しにより、災害・感染症等の緊急時でも平常時対応が可能な業務体制の追求
 - 物価高騰には、公的助成制度を活用しつつ、効率的な事業展開で迅速に対応し、安定した事業運営を図る
- 適正な情報開示による経営の透明性の確保**
 - ホームページで事業報告・計画、財務状況、監査報告等の法人情報を適正に開示

- 法人広報誌「ききょう」（年3回発行）により法人活動情報を公開
 - 第三者評価結果やWAMネットを活用し、財務状況等の情報を開示
- 法人本部体制の強化**
 - 社会福祉法に基づき、ガバナンス強化や運営の透明性向上、財務規律の強化を図るとともに、人員配置を継続的に見直し、持続可能な運営体制を整備する
 - 経営品質向上活動の法人全体への展開【重点】**
 - 日本経営品質賞評価レポートの提言を踏まえ、理念浸透やサービス向上、地域貢献等をテーマとした参加型の意見交換・検討会を実施する
 - 次世代リーダー等を含む部門間連携により、2030年度再チャレンジに向けた活動を推進するとともに、農福連携や多世代交流、地域相談窓口設置等の取り組みを進め、組織変革目標を精査する
 - 新規事業展開等**
 - 一津屋愛育園の隣地の園庭の拡張工事及び園庭の芝生化にむけた補助金申請の準備
 - 在宅介護における夜間支援の需要増加を踏まえ、高槻けやき郷におけるナイトケア（介護保険外事業）の開始に向けた準備

2. 福祉サービスの質の向上に向けた活動

- 法人理念の周知の徹底（理念等を冊子化した「和顔愛語」の全スタッフへの周知）**
 - 多言語化した「和顔愛語」も利活用し、すべてのスタッフに対し法人内全部門の経営方針を周知徹底し、部門間の連携強化を図る
 - 全部門における和顔愛語（第2版）に基づく法人理念等の浸透度、実践度の測定
- 地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開【重点】**
 - 利用者一人ひとりの心身状態や多様なニーズに応じた福祉サービスを提供し、可能性を伸ばす支援とサービスの質の向上を図る
 - 各園・施設で質向上に向けた計画策定と進捗確認を行うとともに、複合的な課題を抱える家庭への部門横断的な支援体制を構築する
- 研修・マニュアル等の内容を適宜見直し、より最新で専門性の高いサービス展開を追求する**
 - 全部門における虐待防止・対応マニュアルの改定とその周知徹底

3. 人財確保と育成・定着

- 人事管理や給与体系をはじめとする処遇改善に向けた諸規程を改定等整備し、労働環境改善のための活動を助長することにより人財の確保・育成・定着につなげる**
 - 週休3日制や資格取得支援、奨学金制度等の導入を検討し、福利厚生の充実と働きやすい環境整備を進める
 - 障がい者雇用の段階的な引き上げに応じた障がい者雇用の促進及び就労環境の整備と就労継続支援A型事業所等との連携の強化
 - 保育部門キャリアパス体制表に基づいた職階に求められる職責・業務の遂行と評価項目の検討
- 法人として求人活動内容全般を見直し、人財の確保につなげる**
 - ホームページやSNS（Instagram・YouTube等）、パンフレットを活用し、全部門の採用情報やリクルート動画を充実させる
 - 高齢・障がい部門及び法人ホームページのリニューアル準備を進めるとともに、公式LINE等の新たな求人ツール導入を検討する
- 優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組み**
 - 実習生の受入れ体制の充実（受入れ期間中が法人（園・施設）のアピールの絶好の機会）
 - 実習生に対するアンケート調査の実施や実習元の学校等関係者との連携充実
- 各種関係機関との関係構築**
 - 採用につながる関係構築を目的とした学校訪問と各種就職フェアへの参加

- 施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築
- 次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化**
 - 経営品質向上活動PJでの協議検討を通して幹部職層の育成を図るため、次世代リーダー選出・新規養成するとともに部門間連携強化を目的に保育部門の幹部との交流を図る機会をもつ
 - 研修・育成体制の強化及び整備**
 - 保育部門における継続的な研修や活動によりマネジメント・組織体制を構築
 - 高齢・障がい部門で多様な人財を中長期にわたり安定的に確保・育成できるように、職員が能力を発揮しやすい働きやすい職場環境づくりを推進する。また、ファーストステージ研修Ⅱ（地域別研修）について、京都・大阪で実施する研修項目の講習時間等を統一して実施
 - 研究発表会（第21回）の機会を通じて、交流の機会（5法人以上が参加）の確保
 - 外国人労働者の受入・教育体制の整備**
 - 介護技能実習制度の令和9年から施行される育成就労制度への対応の検討及び在留資格「特定技能（介護）」による外国人人財の受け入れに当たる体制整備
 - 人財確保プロジェクトと連携しながら、グローバル人財プロジェクトを中心に、全施設に担当者を配置し、外国人スタッフの将来のリーダー・幹部候補育成等を念頭に置いた研修体制、キャリアパスの構築

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- 社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取組みのさらなる充実・展開を図る
- 地域の福祉ニーズへの対応**
 - 全部門における地域における公益的取組みの充実と更なる展開（※詳細は各施設の事業計画参照）
 - 各市町村等が実施する重層的支援体制整備事業への参画【重点】
 - 各部門の種別を超えた連携による総合相談窓口設置**
 - 全部門における地域の総合相談事業の展開
 - 包括的な支援を要する複合的課題を抱える家庭の対応について、全部門が連携した横断的な体制の構築
 - 災害発生時の継続的な支援が可能となる体制の構築**
 - 福祉避難所の整備と物資の備蓄等を踏まえたBCPの高齢者・障がい部門全施設で策定、PDCAサイクルで進捗管理

- 災害派遣福祉チーム（DWAT）の新規養成等による増員とスタッフ派遣
 - スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動の推進
 - 能登半島地震被災地支援の取組みとして、義援金及びDWAT・介護職員等の派遣等の協力
- 社会的援護を必要とする人々への支援**
 - 生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への提出
 - 大阪：「大阪しあわせネットワーク」／京都：京都地域福祉創生事業「わかプロジェク」
 - 生活困窮者自立支援法に基づく各施設での支援体制の整備等（中間的就労等の受入等）
 - 協力雇用主制度に登録し、保護司と連携した刑務所出所者の雇用
 - 居住支援法人としての活動の展開（吹田市・高槻市）
 - 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム（内閣官房）への登録、実践及び事例報告等

令和7年度 事業報告 物価高騰や2025年問題により担い手不足が深刻化する中、成光苑は「10年後も地域で最も頼られる存在」を目指し、部門連携の強化、給与見直し、ICT化を重点的に進めた一年

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 財務管理体制の強化（経営状況の把握、分析）**
 - 経営企画会議・園長検討会の運営による法人の各部門の経営状況に応じた対策及び財務状況の安定を図るための経営・財務分析の実施
- 人事・給与管理体制等の強化【重点】**
 - 多様な人財が活躍できる体制の整備（休暇日数の見直し、高齢者・障がい者雇用の促進等）
 - 各部門における人事・給与システムの整備充実による管理体制の強化
- ICT化・DX化の促進【重点】**
 - （1）全部門におけるICT環境の整備（タブレット等の導入）により、業務の効率化を推進。⇒高齢者・障がい部門・介護ロボット機器やセンサー等の導入、ケアブランドデータ連携システム等の導入の促進等
 - ⇒保育部門：保育ICT「コドモン」の活用、午睡センサーの導入
 - ⇒ICT推進PJの編成（6月～）と法人全体での議事録作成ソフトの導入
- 事業の継続に向けた体制整備【重点】**
 - 高齢・障がい部門におけるBCPの適宜の更新により、災害・感染症等の緊急時でも平常時対応が可能な業務体制の追求。保育部門においてもBCP研修を受講し内容の見直しを図った
- 適正な情報開示による経営の透明性の確保**
 - 第三者評価受審及び結果の開示（法人ホームページ等から結果公表）

2. 福祉サービスの質の向上に向けた活動

- 法人理念等の周知の徹底及び冊子化した「和顔愛語」第2版の全職員への周知**
 - 「和顔愛語」の多言語化（6か国語）により全てのスタッフに対し周知徹底できる体制を強化
 - 和顔愛語第2版に基づく浸透度、実践度の測定を全部門において毎年1回実施
- 地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開【重点】**
 - 複数の福祉ニーズを抱え、包括的な支援を要する家庭における部門を跨いだ支援体制の構築のため、全部門が参加する「居場所づくり」をテーマにした研修会の実施
 - 時代により変化するニーズを先取りし、その人（子ども、高齢者、障がい者・児）の可能性を伸ばす福祉サービスを展開（コリスPLUSの開設等）
 - 保育部門各園のオンリーワン・ナンバーワンの評価・検証および強化【重点】
- 研修・マニュアル等の内容を適宜見直し、より最新で専門性の高いサービス展開を追求（各部門）**
- 提供するサービスの外部監査（評価）の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備**
 - 高齢者・障がい部門での内部監査（年2回）を実施し、評価結果を分析・改善計画へ反映
 - ISO外部定期審査の受審及び介護保険法等に基づく自主点検表による自己チェックの実施

3. 人財確保と育成・定着

〔人事・採用・育成体制〕処遇改善と人財確保・育成・定着に向けた主な取り組み
＜人財確保活動結果＞

○採用者数（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の新卒者等の正規採用者

	四大卒	短大・専門卒	高 卒	一 般	合 計
保育部門	0	0	0	5	5
高齢者・障がい部門	0	6	2	28	36
合 計	0	6	2	33	41

- 処遇・労働環境改善の取組**
 - 週休3日制の導入の検討（次年度試行実施するための検討）や資格取得支援等の新たな支援体制の運営や福利厚生の充実（リゾートラスト等の利活用）に向けた継続的な検討
 - 実務者研修資格取得支援等のキャリア形成支援を継続
 - 障がい者雇用の促進（法定雇用率3.6%・前年比+0.31）および就労継続支援A型事業所との業務連携（清掃業務委託）を推進
 - 離職率（中途採用者反映方式）：保育：13.1%（前年比-1.3） 高齢・障がい：11.2%（前年比-0.1）
- 法人として求人活動内容全般の見直し**
 - 各園・施設及び法人のホームページのリニューアル（採用サイトについては次年度にリニューアル予定）及び適宜更新
 - 求人に関わるツール（次年度公式LINEの立ち上げに向けた検討）の工夫や情報発信方法の検討（保育部門：業者による動画作成、Instagram・YouTubeへの投稿、求人広告を1つの動線として応募につながる流れを構築）
- 優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組みの充実**
 - 実習生の受入れ体制の充実（高齢・障がい部門の新卒採用・配属先で受け入れ

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- 地域の福祉ニーズへの対応**
 - 全施設において、地域における公益的取組みの充実・展開を推進（※詳細は各施設計画参照）
 - 生活困窮者支援に係るネットワーク・基金への参画・提出
 - 大阪：「大阪しあわせネットワーク」／京都：「わかプロジェクト（京都地域福祉創生事業）」
 - 生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労等の受入体制を整備（実績：0件）
 - 協力雇用主制度への登録を継続（刑務所出所者の雇用支援・実績0件）
 - 居住支援法人としての活動エリアの拡大（吹田市：及び高槻市）。継続して高槻市・大阪府と協議
- 社会的援護が必要な層への支援**
 - 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム（内閣官房）」への登録・情報収集等
- 地域子育て支援事業・関係機関との連携の充実**
 - 妊婦・子育て家庭向けに動画（YouTube）による情報発信（手作りおもちゃ・離乳食の作り方等）

- WAMネット情報開示システムを利用した情報開示（財務状況報告等）
 - 介護情報公表サービス・障害福祉サービス等情報公表及びここdeサーチ（保育部門・WAM）による情報公表
- 経営品質向上活動の法人全体への展開【重点】**
 - PJは次世代リーダー勉強会の受講者から新たなメンバー選出し増員して構成。次年度に向けて保育部門も含めた体制（分科会方式による開催）の充実に向けた活動内容の検討
 - 部門を跨いだ活動（農福連携PJ、高齢者施設でのイベントへの園児の参加、交流研修会の開催等）の実施
 - 関係団体（社会福祉懇談会、都道府県経営協、6法人合同研修会、JQAA等）において、全部門が連携した当該活動に関する発表の機会を確保
 - 新規事業等**
 - コリスPLUS（児童発達支援・放課後等デイ・障がい児相談支援）の新規開設、定員増（10名から20名へ）
 - こども誰でも通園制度の事業開始（正雀・一津屋）
 - 岩戸ホーム経費老人ホーム開設50周年記念行事の開催

- 緊急時・非常災害時の組織体制整備【重点】**
 - 災害・感染症などの非常事態に対応可能なBCP体制の整備・進捗管理を推進（保育部門も全園がBCP作成）
- リスク管理体制の整備**
 - 保育部門における園児の取り残し防止及び出欠確認の徹底
 - 高齢者・障がい部門の全施設における部署別の事故報告分析の実施
- 全部門における不適切な対応と虐待防止に向けた体制整備**
 - 保育部門の園における虐待防止マニュアルの新規策定と運用
 - 障がい者虐待防止対応マニュアルの改訂及び高齢者虐待防止・対応マニュアルの運用
- 高齢者全施設における認知症ケアの充実のための体制整備**
 - 認知症ケアの質の向上に加え、在宅生活の継続を目的にした事例検討
- 全部門における顧客満足度調査の実施**
 - 調査結果に基づき、改善策を立案するとともに顧客へのフィードバックを実施
- 法人内部部門間連携の強化**
 - 保育部門とコリスとで合同カンファレンスの開催（年4回）や合同秋祭りの開催等

- た実習生2名）
 - 実習元の学校等関係者との連携充実（高齢・障がい部門の新卒採用：学校からの紹介3名）
 - 実習生に対するアンケート調査の実施（採用へつなげる情報収集及び実習の満足度調査）
- 次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化**
 - 法人幹部研修等を実施し、キャリアパスを具現化できる研修・組織体制を整備
 - 高齢者・障がい部門における職員意識調査等の結果に基づく、改善計画の策定及び実践**
 - 高齢者・障がい部門における外国人労働者の受入・育成体制の整備**
 - グローバル人財PJを編成し、京都・大阪エリア合同で外国人スタッフの交流会（テーマ設定をした発表会）を実施（10月）

エリア	種別	人数	国 籍	エリア	種別	人数	国 籍
京都	技能実習生	4名	ベトナム	大阪	特定技能（調理）	2名	ミャンマー
	技能実習生	6名	インドネシア		特定技能（調理）	1名	タイ
	特定技能	5名	ベトナム		技能実習生	5名	ベトナム
	特定技能生	1名	中国		正規雇用	4名	ベトナム
	特定技能	13名	フィリピン		小計	12名	
	正規雇用	2名	ベトナム	合 計		45名	
	非常勤	2名	フィリピン				
	小計	33名					

- 他法人との交流による研究発表会（第20回）の開催**
 - 第20回目となる記念大会として、内容（記念講演、副賞等）充実させ、メインアターにて完全参集型で開催（2月18日開催：7法人が参加）

- Instagram等を活用した活動内容の情報発信
 - 地域の関係機関との連携や地域との繋がり構築（受援力を高める福祉教育プロジェクトへの参画、その他他協等が主催する地域のイベントへの参加等）
- 重層的支援体制の充実**
 - 高槻市子育て世帯訪問支援事業の受託（依頼2件あるも実績0件）【新規】
 - 吹田しあわせネットワーク・吹田学生応援プロジェクトの活動への参画
 - 高齢者施設における地域の子どもを対象としたイベント等の開催（こども食堂、こども食堂ネットワークへの参加、多世代交流イベントの開催、小学生を対象とした認知症サポーター養成講
 - 総合相談窓口の設置と部門連携の強化**
 - 災害発生時の支援体制の構築**
 - 高齢・障がい部門全施設で、福祉避難所整備とBCP策定、PDCAによる進捗管理
 - 災害派遣福祉チーム（DWAT）への参画推進（登録者計12名：新規増員無し）
 - スタッフ派遣・義援金寄付・避難所サポーター研修など、非常時に備えた体制整備



第10回元気まつり

高槻けやきの郷では5月30日、「第10回 高槻けやきの郷 元気祭り～若さと健康、いきいき笑顔～」が開催されました。SNSや地域に掲示したポスターをご覧になった方、ご利用者のご家族など、120名を超える皆さまにご参加いただきました。

今回の講座では、防災士（＊）の松永正明氏（NPO法人 高槻技術協会）をお招きし、簡易トイレの作り方の実践や、防災バッグに入れておくべき必需品について、参加者の皆さんと意見を交わしながら防災意識を高めました。

模擬店では、キッチンカーなどの飲食ブースも大盛況でした。中でも、中島康博同施設長が味付けをプロデュースした特製“具だくさん豚汁”は大好評。大きな寸胴鍋で用意した100食分は（写真下）、販売前から列ができるほどで、「肉がいっぱい」「美味しかった」と、お代わりを購入する小学生の姿も見られました。

ご家族と参加されたご利用者からは、「外（屋外）で家族と一緒にご飯を食べて、旅行に来たみたい」と、笑顔で会話が弾むひとときとなりました。

（＊）防災士 災害から命を守るための知識と技術を身につけた、防災のスペシャリスト



防災講座は、簡易トイレの作り方や防災バッグのアドバイス

高槻けやきの郷

第4回ふれあいフェスタ

摂津市老人福祉センターせつつ桜苑（特養せつつ桜苑併設）では、5月30日に「第4回ふれあいフェスタ」を開催し、100名を超える多世代の来場者で賑わいました。

今回は「ものづくり体験」「スポーツ体験」「多世代食堂（＊）試食会」をテーマに、ものづくり・スポーツ・食を通じて、子どもから高齢者までが自然に交流できる地域体験イベントを実施しました。「ものづくり体験」では消しゴムハンコづくりを、「スポーツ体験」ではフィンランド発祥のアウトドアスポーツ・モルック（木の棒を使った競技）を楽しみ、参加者が夢中になって競い合う姿が見られました。

また、併設するせつつ桜苑で始まった「多世代食堂」の試食会では、親子丼とポテトサラダを提供。「とてもおいしいし、価格も安いから利用したい」と、次回開催のチラシを手取るなど高評価の声が寄せられました（写真）。

（＊）多世代食堂 子ども・大人・高齢者など、年齢や立場を越えて誰でも参加できる「地域の食堂」のこと。単に食事を提供する場ではなく、交流・見守り・学び・支え合いが自然に生まれるコミュニティ拠点として注目されている。



モルックで競い、多世代食堂の試食会は大評価

摂津市老人福祉センターせつつ桜苑

あまいの虫歯になるんだよー

幼児クラスの歯みがき指導

認定こども園 一津屋愛育園

認定こども園一津屋愛育園では、6月4日（虫歯予防デー）に3～5歳児クラスを対象として、「はやみず歯科」による歯科検診と歯みがき指導を行いました。

歯科衛生士の指導では、食べ物カードを使った「虫歯になりやすい食べ物クイズ」や、歯の模型を使った正しい磨き方を教えていただきました（写真）。子どもたちは「これかな?」「あまいの虫歯になるんだよ」と楽しそうに参加していました。

その後は、歯ブラシを使って「奥歯10回」「前歯10回」と数えながら、丁寧に磨く練習をしました。「じょうずにできた!」という声も聞かれ、楽しく口の健康について学ぶ時間となりました。



令和7年度 決算報告

【資金収支計算書】

（自）令和7年4月1日 （至）令和8年3月31日 単位:百万円

勘定科目		本部	認可・保育	高齢・障害	公益・収益	内部消去	合計
事業活動収支	収入	89	1,742	4,207	189	△5	6,222
	支出	41	1,438	3,856	136	△5	5,466
事業活動資金収支差額		48	304	351	53	0	756
施設整備等収支	収入	0	0	206	0	0	206
	支出	0	31	444	43	0	518
施設整備等資金収支差額		△0	△31	△238	△43	0	△312
その他の活動収支	収入	92	5	93	6	△168	28
	支出	0	268	167	10	△168	277
その他の活動資金収支差額		92	△262	△75	△4	0	△248
当期資金収支差額合計		139	11	41	5	0	196
前期末支払資金残高		725	235	1,627	47	0	2,634
当期末支払資金残高		864	245	1,668	52	0	2,830

【貸借対照表】 成光苑全施設（社会福祉事業・公益事業・収益事業） 令和8年3月31日現在 単位:百万円

勘定科目		勘定科目	
科 目	金額	科 目	金額
流動資産	3,200	流動負債	680
		うち1年以内借入金・賞与引当金	302
固定資産（基本財産）	6,323	固定負債	1,799
その他の固定資産	3,885	負債合計	2,478
		純資産の部	
		基本金	609
		国庫補助金等特別積立金	2,364
		その他の積立金	1,566
		次期繰越活動収支差額	6,392
資産合計	13,409	負債及び純資産合計	13,409

令和8年度 資金収支予算

【資金収支計算書】

成光苑全施設（社会福祉事業・公益事業・収益事業） 単位:百万円

勘定科目		本部	保育	高齢・障害	公益・収益	内部消去	合計
事業活動収支	収入	10	1,597	4,317	188	△5	6,107
	支出	32	1,482	3,947	139	△5	5,595
事業活動資金収支差額		△22	115	370	49	0	512
施設整備等収支	収入	0	0	125	0	0	125
	支出	0	53	354	42	0	449
施設整備等資金収支差額		0	△53	△229	△42	0	△324
その他の活動収支	収入	96	16	68	5	△130	55
	支出	0	15	147	7	△130	39
その他の活動資金収支差額		96	1	△79	△2	0	16
予備費		0	63	0	0	0	63
当期資金収支差額合計		74	0	60	6	0	140
前期末支払資金残高		858	236	1,686	46	0	2,826
当期末支払資金残高		932	236	1,746	52	0	2,966

（保育園は認定こども園を含む）